



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 カンロ株式会社

コード番号 2216 URL <http://www.kanro.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 村上 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 高木 庸

TEL 03(3385)8811

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	14,213	△5.4	594	△29.2	582	△29.4	307	△33.4
21年12月期第3四半期	15,032	—	839	—	824	—	461	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	16.67	—
21年12月期第3四半期	25.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	16,179	10,207	63.1	553.67
21年12月期	15,552	10,140	65.2	549.96

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 10,207百万円 21年12月期 10,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年12月期	—	6.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△3.4	1,150	△16.7	1,150	△15.9	620	△18.8	33.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期3Q	19,544,505株	21年12月期	19,544,505株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	1,107,789株	21年12月期	1,106,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年12月期3Q	18,437,190株	21年12月期3Q	18,440,617株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しております。従って実際の業績は業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関しましては、[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調にありましたが、ここにきての急激な円高やデフレの進行による景気の下振れ懸念など、政府による金融緩和策等の経済政策も関連各国の足並みが揃わず、先行きへの不透明感は益々強まっております。

菓子業界におきましては、原材料価格は比較的落ち着きを取り戻しているものの依然として高値で推移しており、また、雇用・所得環境の影響による個人消費の冷え込みに加えて今夏の猛暑が大きく影響するなど、メーカーの経営環境は厳しさを増す状況にあります。

このような厳しい経営環境の下、当企業集団は、経営基盤強化のため主力ブランド商品の売上拡大、優位性のある新製品開発のための新製法製造ラインの導入、既存製造ラインの改造による生産効率の向上等、収益力の強化に向け全社一丸となって取り組んで参りました。しかしながら、当第3四半期のキャンディ売上高は、グルメキャンディ群は前年同期比増加しましたが、のど飴群及びグミ群が前年同期比減少したことにより、第2四半期に引続き前年同期実績を下回る厳しい結果となりました。また、素材菓子の売上高は、梅製品群が堅調に推移したことにより前年同期実績を上回ることとなりました。

以上の結果、第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比8億18百万円(5.4%)減収の142億13百万円となりました。

利益面につきましては、売上総利益は売上高の減少とこれに伴う生産高の減少による原価率の上昇を主因に前年同期比5億83百万円(8.2%)減益の65億61百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費は、売上高の減少に伴う販売経費・配送費の減少と広告宣伝費や一般管理費の抑制により前年同期比3億39百万円(5.4%)減少の59億67百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比2億44百万円(29.2%)減益の5億94百万円、経常利益は前年同期比2億42百万円(29.4%)減益の5億82百万円、四半期純利益は前年同期比1億53百万円(33.4%)減益の3億7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ6億26百万円(4.0%)増加し161億79百万円となりました。

これは主に売上債権が12億29百万円減少しましたが、朝日工場建設などによる建設仮勘定の増加11億61百万円を含み有形固定資産が19億34百万円増加したことによるものです。

負債の部は、前期末に比べ5億58百万円(10.3%)増加し59億71百万円となりました。

これは主に朝日工場建設のため借入金が増加しましたが、未払費用及び未払法人税等が6億23百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前期末に比べ67百万円(0.7%)増加し102億7百万円となりました。

これは主に四半期純利益3億7百万円による増加と、配当金2億21百万円の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績は、前年同期比減収減益の厳しい結果となりました。

当企業集団といたしましては、引続き主力ブランド商品の売上拡大と新商品の拡充に努めると共に、

第4四半期は物流改革による配送費の低減等コスト削減策を着実に実施いたします。従いまして通期業績予想につきましては前回公表（平成22年7月29日）と変わらずとしております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,505,307	1,729,280
受取手形及び売掛金	3,465,167	4,694,865
商品及び製品	436,159	438,968
仕掛品	43,127	2,591
原材料及び貯蔵品	175,246	131,947
その他	478,952	366,284
流動資産合計	6,103,960	7,363,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,133,428	5,991,177
減価償却累計額	△3,898,550	△3,773,802
建物及び構築物(純額)	2,234,878	2,217,375
機械装置及び運搬具	10,634,800	9,765,552
減価償却累計額	△7,168,996	△6,969,358
機械装置及び運搬具(純額)	3,465,804	2,796,194
土地	1,987,222	1,987,222
建設仮勘定	1,321,699	159,738
その他	897,736	761,939
減価償却累計額	△648,391	△597,745
その他(純額)	249,345	164,193
有形固定資産合計	9,258,950	7,324,723
無形固定資産	73,536	69,997
投資その他の資産		
投資有価証券	262,124	291,081
その他	480,476	503,135
投資その他の資産合計	742,601	794,217
固定資産合計	10,075,088	8,188,938
資産合計	16,179,049	15,552,877

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,407,870	1,576,148
短期借入金	1,000,000	—
未払金	812,644	597,152
未払費用	900,781	1,221,941
未払法人税等	32,122	334,852
賞与引当金	337,935	234,301
役員賞与引当金	30,000	40,000
その他	79,760	143,685
流動負債合計	4,601,115	4,148,081
固定負債		
退職給付引当金	1,060,326	971,023
役員退職慰労引当金	199,560	251,230
その他	110,204	42,487
固定負債合計	1,370,091	1,264,741
負債合計	5,971,206	5,412,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,642,796	2,642,676
利益剰余金	5,010,678	4,924,563
自己株式	△298,395	△297,836
株主資本合計	10,219,328	10,133,653
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,485	6,400
評価・換算差額等合計	△11,485	6,400
純資産合計	10,207,843	10,140,053
負債純資産合計	16,179,049	15,552,877

(2) 四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	15,032,137	14,213,664
売上原価	7,886,833	7,652,044
売上総利益	7,145,303	6,561,619
販売費及び一般管理費	6,306,122	5,967,118
営業利益	839,181	594,500
営業外収益		
受取利息	1,513	1,214
受取配当金	4,599	4,656
技術指導料収入	2,619	2,430
その他	6,686	13,573
営業外収益合計	15,418	21,874
営業外費用		
支払利息	—	1,813
退職給付費用	23,621	23,621
その他	6,078	8,228
営業外費用合計	29,700	33,662
経常利益	824,900	582,712
特別利益		
入会保証金売却益	—	390
特別利益合計	—	390
特別損失		
固定資産除却損	8,301	21,794
固定資産売却損	1,660	—
減損損失	11,148	386
投資有価証券評価損	410	—
特別損失合計	21,520	22,181
税金等調整前四半期純利益	803,379	560,922
法人税、住民税及び事業税	376,500	290,957
法人税等調整額	△34,442	△37,397
法人税等合計	342,057	253,559
四半期純利益	461,322	307,362

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。